

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	2023年9月8日から2025年9月10日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建の外国投資信託「バッシ ム・トラスト－US テクノロジー 2x ベア・ファンド－クラスE証券」および国内投資信託「マネーアカウン トマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	バッシ ム・トラスト－US テクノロジー 2x ベア・ファンド－クラスE証券	主として円建の日本国債を投資対象とします。 J Pモルガンチェースバンク N. A. ロンドン支店、または J Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。
	マネーアカウン トマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
	バッシ ム・トラスト－US テクノロジー 2x ベア・ファンド－クラスE証券	店頭オプション、上場オプション、E T Fに原則として直接投資を行いません。 有価証券の空売りは行いません。
	マネーアカウン トマザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (ナスダック100・ダブルベア9)

第1期運用報告書（全体版） (決算日 2024年9月10日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9（ナスダック100・ダブルベア9）」は、2024年9月10日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	パッシブ・トラスト－ US テクノロジー 2x ベア・ファンド－ クラス E 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
設 定 日 2023年 9 月 8 日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1 期 (2024年 9 月10日)	6,081	0	△39.2	0.0	—	95.3	2,301

(注) 基準価額および分配金は 1 口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の値動きの概ね 2 倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2 日以上離れた日との比較においては概ね 2 倍程度反対の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	パッシブ・トラスト－ US テクノロジー 2x ベア・ファンド－ クラス E 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
設 定 日 2023年 9 月 8 日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
9 月末	10,488	4.9	—	—	94.0
10 月末	10,898	9.0	—	—	94.6
11 月末	8,936	△10.6	—	—	95.7
12 月末	8,646	△13.5	—	—	91.5
2024年 1 月末	7,378	△26.2	—	—	94.9
2 月末	6,735	△32.7	—	—	95.0
3 月末	6,319	△36.8	0.0	—	95.1
4 月末	6,150	△38.5	0.0	—	74.4
5 月末	5,644	△43.6	0.0	—	95.0
6 月末	4,704	△53.0	0.0	—	94.9
7 月末	5,556	△44.4	0.0	—	95.3
8 月末	5,587	△44.1	0.0	—	95.2
期 末 2024年 9 月10日	6,081	△39.2	0.0	—	95.3

(注) 基準価額は 1 口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

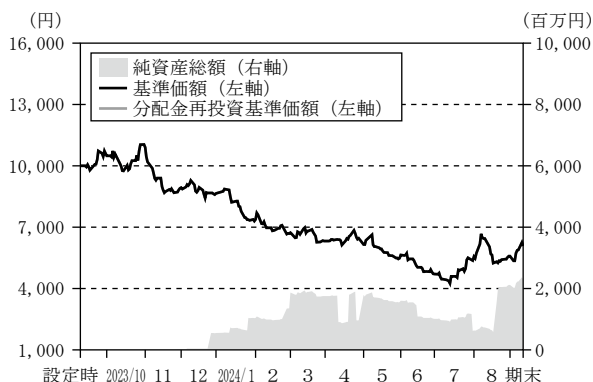
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の値動きの概ね 2 倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2 日以上離れた日との比較においては概ね 2 倍程度反対の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

第1期末：6,081円（既払分配金0円）

騰 落 率：△39.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、設定日（2023年9月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

「パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。ナスダック100指数が上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券	△41.4%
マネーアカウンタマザーファンド	0.0%

ナスダック100指数について

Nasdaq®、NASDAQ-100®およびNASDAQ-100 INDEX®は、Nasdaq, Inc.（以下、その関係会社と合わせて「ナスダック」といいます。）の登録商標であり、T&Dアセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックは、T&Dダブルプル・ベア・シリーズ9（ナスダック100・ダブルベア9）（以下、「当ファンド」）の適法性および適格性について保証するものではありません。当ファンドは、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、当ファンドに関していかなる保証も行わず、また、いかなる責任も負担しません。

■ 投資環境

【米国株式市況】

当期のナスダック100市場は上昇しました。期初から2023年10月にかけては、コモディティ価格の上昇、金融政策引締め長期化観測の高まり、政府閉鎖懸念などが重しとなり下落しました。11月から2024年4月にかけては、利上げ停止や早期利下げ期待から反発し、上昇に転じました。その後は、強弱入り乱れる経済や雇用指標を背景に、先行きの金融政策を巡り上下動を繰り返す展開が続きましたが、半導体関連企業の高業績期待が株価をけん引する形で堅調な動きとなりました。5月から7月上旬にかけては、利上げ懸念が再燃したことから下落する局面もありましたが、弱い経済指標を背景に早期の利下げ期待が高まり上昇しました。7月中旬から期末にかけては、バイデン大統領の選挙出馬撤退表明による政治的不確実性の高まりや、雇用指標の悪化から米景気減速懸念が高まり、急落する局面もありましたが、インフレの鎮静化、消費動向や労働市場の底堅さを示す指標や9月利下げ開始観測の高まりを背景に上昇に転じました。その後は、相場をけん引してきた半導体関連企業の市場予想を下回る決算を受けて、軟調な展開となりました。



(注) 米ドル建指数を当社が独自に円換算した指数を表示しております。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.15\%$ から期末は 0.08% となりました。期中においては、日銀によるマイナス金利解除や更なる政策金利の引上げのほか、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

期を通じて、「パッシム・トラスト－US テクノロジー 2x ベア・ファンド－クラスE証券」を高位に組入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入投資信託証券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、「マネーアカウントマザーファンド」およびコール・ローン等で運用を行いました。

【パッシム・トラスト－US テクノロジー 2x ベア・ファンド－クラスE証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN.A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移していたため組入れを見送っていましたが、2024年3月中旬に利回りがプラスとなった国庫短期証券を60%程度組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、J PモルガンチェースバンクN. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を継続する方針です。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀はマイナス金利政策の解除を行いました。依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1口当たりの費用明細 (2023年9月8日から2024年9月10日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2023/9/8～2024/9/10		
	金額	比率	
平均基準価額	7,253円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	76円 （ 40） （ 32） （ 3）	1.042% (0.555) (0.444) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用）	1 （ 1）	0.012 (0.012)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	77	1.054	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

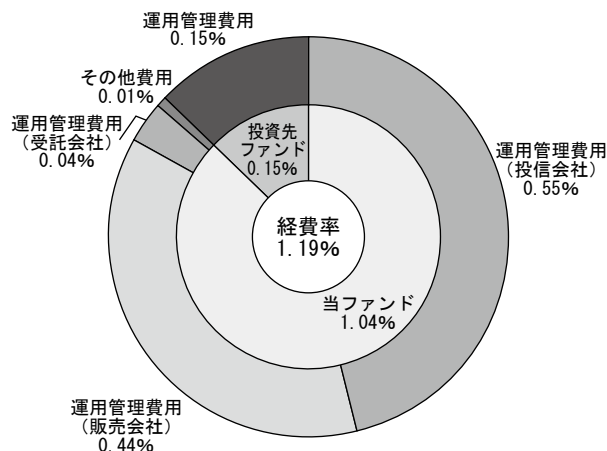
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1万口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は、1.19%です。



経費率 (①+②)	1.19%
①当ファンドの費用の比率	1.04%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

(注) ①の費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2023年9月8日から2024年9月10日まで）

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ペア・ファンド - クラスE証券	829,990	5,166,713	455,800	2,676,200

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウンタマザーファンド	20	20	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2023年9月8日から2024年9月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年9月8日から2024年9月10日まで）

設定時残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取 引 の 理 由
千円	千円	千円	千円	
1,100	1,260	70	2,290	当初設定時における取得等 商品性を適正に維持するための取得等

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細（2024年9月10日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	当 期		末
	口 数	評 価 額	比 率
パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ペア・ファンド - クラスE証券	374,190	2,192,738	95.3 %

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期		末
	口 数	評 価 額	金 額
マネーアカウンタマザーファンド	20		20

(注) マネーアカウンタマザーファンド全体の受益権口数は222,064千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2024年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券	2, 192, 738	95. 0
マネーアカウントマザーファンド	20	0. 0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	116, 065	5. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	2, 308, 823	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2, 308, 823, 279円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	114, 856, 619
パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券(評価額)	2, 192, 738, 432
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	20, 002
未 収 入 金	1, 207, 586
未 収 利 息	640
(B) 負 債	7, 780, 150
未 払 解 約 金	166, 341
未 払 信 託 報 酬	7, 494, 278
そ の 他 未 払 費 用	119, 531
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2, 301, 043, 129
元 本	3, 784, 250, 000
次 期 繰 越 損 益 金	△1, 483, 206, 871
(D) 受 益 権 総 口 数	378, 425口
1 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	6, 081円

(注) 設定時元本額 1, 100, 000円
期中追加設定元本額 8, 446, 210, 000円
期中一部解約元本額 4, 663, 060, 000円
(注) 元本の欠損
当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は
1, 483, 206, 871円です。
(注) 1口当たり純資産額は6, 081円です。

損益の状況

当期 自2023年9月8日 至2024年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	58, 740円
受 取 利 息	64, 279
支 払 利 息	△ 5, 539
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	165, 617, 670
売 買 益	382, 455, 125
売 買 損	△ 216, 837, 455
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9, 630, 092
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	156, 046, 318
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1, 639, 253, 189
(配 当 等 相 当 額)	(△ 135, 433)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1, 639, 117, 756)
(F) 合 計 (D + E)	△1, 483, 206, 871
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△1, 483, 206, 871
追 加 信 託 差 損 益 金	△1, 639, 253, 189
(配 当 等 相 当 額)	(△ 135, 433)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1, 639, 117, 756)
分 配 準 備 積 立 金	156, 046, 318

(注) 損益の状況の中で
(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (54, 888円) および費用控除後の有価証券売買等損益 (155, 991, 430円) より、分配対象収益は156, 046, 318円 (1口当たり412円) となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1口当たり・税引前)

項目	当期
	2023年9月8日 ～2024年9月10日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	412

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

公社債

2023年9月8日から2024年9月10日まで

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
		千円				千円	
第1238回国庫短期証券		399,416		第1238回国庫短期証券		359,533	
第1207回国庫短期証券		144,981		第1207回国庫短期証券		144,922	
第1226回国庫短期証券		107,829		第1226回国庫短期証券		13,986	

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

下記は、マネーアカウントマザーファンド全体(222,064千口)の内容です。

公社債

(A) 国内(邦貨建) 公社債<種類別>

2024年9月10日現在

区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	134,000 (134,000)	133,852 (133,852)	60.3 (60.3)	— (—)	— (—)	— (—)	60.3 (60.3)
合 計	134,000 (134,000)	133,852 (133,852)	60.3 (60.3)	— (—)	— (—)	— (—)	60.3 (60.3)

(注) () 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建) 公社債<銘柄別>

2024年9月10日現在

銘	柄	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
(国債証券)		%	千円	千円	
第1226回国庫短期証券		—	94,000	93,899	2025/4/21
第1238回国庫短期証券		—	40,000	39,953	2025/6/20
合 計			134,000	133,852	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

組入投資信託証券の内容

パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針	主として円建の日本国債およびスワップ取引に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 な 投 資 対 象	主として円建の日本国債を投資対象とします。 スワップ取引等のデリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
投 資 態 度	①主として円建の日本国債を投資対象とします。 ②J PモルガンチェースバンクN. A. ロンドン支店、またはJ Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 ③スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが以下の通りとなる投資成果を目指して運用を行います。 【US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券】 米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	①店頭オプション、上場オプション、E T Fに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性に欠ける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社および管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
決 算 日	6月30日
分 配 方 針	原則として、年1回分配を行います。ただし、分配を行わないことがあります。
投 資 運 用 会 社 管 理 会 社	J . P . モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

《お知らせ》

「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」に関して、2024年9月10日現在、開示できる情報はありません。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第29期（決算日 2024年6月10日）
（計算期間 2023年12月12日から2024年6月10日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2024年6月10日に第29期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
25期（2022年6月10日）	9,995	△0.0	—	—	666
26期（2022年12月12日）	9,992	△0.0	—	—	400
27期（2023年6月12日）	9,989	△0.0	—	—	412
28期（2023年12月11日）	9,986	△0.0	—	—	1,911
29期（2024年6月10日）	9,983	△0.0	59.9	—	240

（注）基準価額は1万口当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

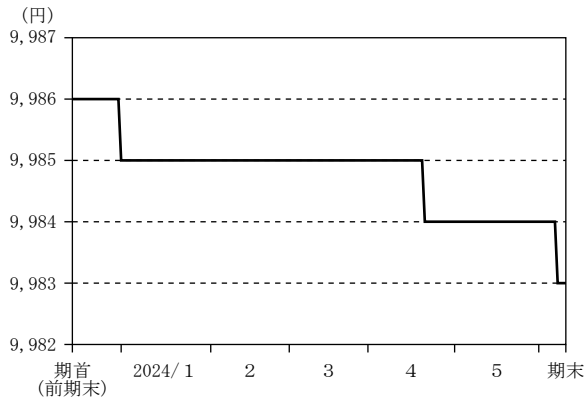
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2023年12月11日	円 9,986 %	% —	% —
12月末	9,985 △0.0	—	—
2024年 1 月末	9,985 △0.0	—	—
2 月末	9,985 △0.0	—	—
3 月末	9,985 △0.0	60.3	—
4 月末	9,984 △0.0	66.7	—
5 月末	9,984 △0.0	60.0	—
期 末 2024年 6 月10日	9,983 △0.0	59.9	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,986円から期末は9,983円となりました。運用対象であるコール・ローン等の利回りがマイナスの期間があったことなどにより下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.16%から期末は0.02%となりました。期中においては、日銀によるマイナス金利解除や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移していたため組入れを見送っていましたが、2024年3月中旬に利回りがプラスとなった国庫短期証券を60%程度組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀はマイナス金利政策の解除を行いました。依然として緩和的な姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細（2023年12月12日から2024年6月10日まで）

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況（2023年12月12日から2024年6月10日まで）

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 252,810	千円 108,935

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

主要な売買銘柄（2023年12月12日から2024年6月10日まで）

公社債

買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
第1207回国庫短期証券	千円 144,981	第1207回国庫短期証券	千円 108,935
第1226回国庫短期証券	107,829		

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2023年12月12日から2024年6月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2024年6月10日現在）

下記は、マネーアカウントマザーファンド全体（240,676千口）の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	144,000 (144,000)	143,832 (143,832)	59.9 (59.9)	— (—)	— (—)	— (—)	59.9 (59.9)
合 計	144,000 (144,000)	143,832 (143,832)	59.9 (59.9)	— (—)	— (—)	— (—)	59.9 (59.9)

- (注) () 内は非上場債で内書きです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注) 残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しております。
(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

銘 柄	当		期		末
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日	
(国債証券)	%	千円	千円		
第1207回国庫短期証券	—	36,000	35,992	2025/ 1 /20	
第1226回国庫短期証券	—	108,000	107,840	2025/ 4 /21	
合 計		144,000	143,832		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2024年6月10日現在）

項 目	当		期		末
	評 価 額	比	率		
	千円		%		
公 社 債	143,832		48.5		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	152,441		51.5		
投 資 信 託 財 産 総 額	296,273		100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	296,273,048円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	118,460,710
公 社 債 (評価額)	143,832,939
未 収 入 金	33,979,226
未 収 利 息	173
(B) 負 債	56,000,000
未 払 解 約 金	56,000,000
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	240,273,048
元 本	240,676,248
次 期 繰 越 損 益 金	△ 403,200
(D) 受 益 権 総 口 数	240,676,248口
1万口当たり基準価額 (C/D)	9,983円

- (注) 期首元本額 1,914,035,782円
 期中追加設定元本額 287,451,114円
 期中一部解約元本額 1,960,810,648円
- (注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は403,200円です。
- (注) 1口当たり純資産額は0.9983円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 デジタルヘルス株式ファンド 11,401,512円
 Jプレミアム・インカムファンド (年1回決算型) 27,771,792円
 Jプレミアム・インカムファンド (年4回決算型) 39,954,185円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (インド・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (インド・ダブルベア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (中国・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (中国・ダブルベア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (ナスダック100・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (ナスダック100・ダブルベア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (金・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (金・ダブルベア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9 (マネーボールファンド9) 161,388,559円

損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 32,855円
受 取 利 息	29,255
支 払 利 息	△ 62,110
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 57,809
売 買 損	△ 57,809
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 90,664
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,672,070
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 451,114
(F) 解 約 差 損 益 金	2,810,648
(G) 合 計 (C+D+E+F)	△ 403,200
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 403,200

- (注) 損益の状況の中で
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。